



令和8年度 市政懇談会

経営戦略課シティブロモーション係 ☎0824-73-1159



市が行う施策や事業に対し、市民の皆さんから意見を伺う市政懇談会を市内10会場で開催しました。昨年度同様、一部会場で「車座方式」での懇談を行うなど、各自治振興区の役員をはじめ、地域の皆さんなど、多くの人に参加いただきました。

参加者の皆さんには、貴重な意見をいただき、ありがとうございました。皆さんから寄せられた提案や意見などは、今後の施策に生かしていきます。

懇談のテーマ・概要

今回の市政懇談会は、第3期長期総合計画の将来像を実現するため、分野横断的に取り組んでいる5つのリーディングプロジェクト「PEACE-full」の1つである「**庄原ブランディングの推進**」をテーマに実施しました。

懇談会では、「庄原ブランディングの推進」の考え方や取り組みについて説明し、参加者の皆さんと認識を共有したうえで、今後の取り組みに向けた意見交換を行いました。

その後、各自治振興区から寄せられた地域要望への回答や、テーマを定めない自由意見交換を実施。地域の実情や市政運営の方針について、活発な意見交換が行われました。

※「庄原ブランディングの推進」については、12ページに詳細を掲載しています。

「庄原ブランディング」への質問・意見

Q なぜ、「庄原ブランディング」を進めていく必要があるのか。

A 庄原ブランディングを進めるきっかけの一つとして、「庄原には何もない」「子や孫に帰って来いと言えない」といった声を耳にすることがありました。こうした声を受け、本市の魅力を変えて見つけ直し、「**市民が誇りと愛着**」を持ち、市内外に伝えていく必要があると考えました。

定住や観光を促進していくために

Q 「庄原ブランディング」はどのように進めていくのか。

A まずは、市民の皆さんや市職員に対して「内側へ向けたブランディング」を行い、身近な魅力を再認識することを通じて、庄原ブランディングの基礎となる「**市民の誇りと愛着**」の形成を促していきたいと考えています。

その上で、発信力を高める市民向けセミナーの開催や、YouTubeをはじめとしたSNSの活用、県大生との連携などを検討しています。



Q いきなり市全体でのブランディングは難しいため、まずは自治振興区など、小さな範囲から進めてはどうか。

A ご意見のとおりです。各地域にはこれまで守ってきた名所など、素晴らしい魅力があります。個人や地域、企業など、それぞれが地域の魅力を再認識し、発信していくことが庄原全体のブランディングにつながります。まずは、それぞれが始めやすい方法で取り組んでいただきたいと思います。

地域要望・自由意見

Q 芸備線は、本市の大きな魅力の1つだと思うが、芸備線の存続については、どのように考えておられるのか。

A 芸備線は、本市にとって大きな財産であり、地域の文化の1つでもあると考えています。

現在は、芸備線再構築協議会において、芸備線の今後について協議を進めており、引き続き、協議会での議論や結果を踏まえながら、対応していくこととなります。

また、これまでの実証事業では、予算や時間の制約から実施できなかった取り組みもあったことから、本市では、今後、改めて皆さんの意見を伺い、芸備線の新たな可能性について調査することとしています。

調査結果は、再構築協議会場で活用していきたいと考えています。

Q 庄原へ定住・Uターンしたい人がいるにもかかわらず、一部地域で住宅が不足していると思われる。市営住宅の建設など、住宅整備が必要ではないか。

A 人口減少が進む中、市が長期にわたって公営住宅を維持管理・新築していくことには限界があります。そのため、定住の機会を逃さない取り組みとして、**賃貸住宅などを整備する個人および法人に対し、賃貸住宅**

Q 避難所に指定されている地域施設（保健センターや体育館など）で、雨漏りや設備の使いにくさが指摘されているが、修繕の予定はあるか。

A 雨漏りなどについては、順次応急処置を行っており、根本的な修繕に向けて関係部署と構造点検や改修の方向性について協議を進めています。

指定避難所については、トイレ環境の改善も含め、災害時に安心して利用できる避難所機能の維持に向け、スピード感を持って対応していきます。

Q 「子どもや地域人材の育成」に ついて、どのように地域への愛着や誇りを育んでいくのか。

A 地域の自然や基幹産業である農業などの体験を生かした「庄原ならではのキャリア教育」を進めます。

地域の皆さんや企業、大学などと連携した多様な体験を通じて、庄原に誇りと愛着を持ち続けられる子どもたちを育てていきたいと考えています。

最後に

市政懇談会の最後に、八谷恭介市長は次のとおりまとめました。

今回の市政懇談会では、「庄原ブランディングの推進」をテーマに、その取り組みや狙いなどについて懇談させていただきました。

庄原には、これまで地域の皆さんが大切に守り、育ててきたさまざまな魅力があります。まずは、そうした庄原の魅力を市民の皆さん自身が改めて見つめ直し、誇りや愛着を持って暮らせるまちにしていきたいと考えています。

そのためにも、各地域に出向いて皆さんのご意見を聞かせていただくことは大変有意義であり、より効果的に施策を進めるうえでのヒントを得ることができました。

今後、「PEACE-full」全体のプロジェクトを進めていく中では、行政だけでなく、市民の皆さんや地域、民間企業・大学など、それぞれが地域の課題や魅力に目を向け、自分たちにできることを考え、行動していくことが重要だと考えています。

すぐには解決できない課題もたくさんありますが、1つ1つ改善しながら、皆さんと一緒に良いまちにしていきたいと思っていますので、引き続き市政運営へのご協力をお願い申し上げます。